

特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる 平成 24 年度事業報告

(平成 24 年 6 月 1 日～平成 25 年 5 月 31 日)

I. 年間の活動のまとめ

法人設立後、10 年目に入った平成 24 年度は、NPO 法改正の周知と、新しい公共支援事業による宮城県 NPO 等支援委託事業の受託や被災地枠の補正予算でもたらされた新しい公共の場づくりのためのモデル事業の補助事業など、たくさんの事業に取り組み、それを担う事務局スタッフの活躍に支えられた 1 年となった。

事業においては、NPO 基盤整備事業の中で重点を置いたのが、平成 22 年 7 月に発表された NPO 法人会計基準による会計報告の普及と、法改正によりハードルが少し低くなった認定 NPO 法人申請の促進の 2 点である。

新しい公共支援事業をフルに活用できたことにより、県内 NPO 法人への会計個別サポートや認定 NPO 法人申請の手続き相談ができた。しかし、残念ながら認定 NPO 法人申請は、講座を受講し、申請を検討する NPO 法人にとっては年次報告提出日や登記の遅れが障害となって申請に至らない団体が目立った一方、震災後立ち上がった団体にとって今後に向けた準備の姿があり、これからの期待がかかる。そして講座を企画した当法人も認定要件をクリアすることが判明し、多忙な業務の合間に申請書類を準備の上、なんとか平成 25 年 5 月中旬に認定 NPO 法人申請書を提出した。次年度には認定 NPO 法人となることを期待している。

また、中央共同募金会からの助成金を得て、月刊ゆるるの誌面にて「復興への道」特集を展開し、被災地の被災者支援活動をする NPO の姿を被災地や県内外の人々に伝えた。毎月の被災地での取材や執筆は全スタッフ総出で取り組んだが、活動する NPO 自らの執筆による掲載もあり、多くの NPO の協力があつたからこそ掲載できたと関係団体に感謝している。

この 1 年の被災地での変化は、他の地域も課題として存在している同様の問題が発生してきているが、それらに取り組む地元民による団体が立ち上がり、これまであまりそのような活動に関心を示さなかった人々の関わりを見せている。被災地外の地域と同様な取り組みがなされてこそ、復興が進んでいるといえる。地域格差が出ているが、確実に民間主体の動きも生まれている。ゆるるは伝える機会を開拓することも重要であるという認識から、今年度も、月刊ゆるるの広範囲な配布と、冊子にした「復興みやぎ withNPO」を県外で多くの人々に手渡すことができた。今後も継続的にこのような活動を市民に伝えていかなければならない。

組織基盤の整備においては、人材育成に力を入れた。日本 NPO センターとワールドビジョンの協働による「NPO 育成・強化プロジェクト」において職員を参加させ、長期にわたる研修とメンターによるサポート、事業企画及び運営の機会を得た。その一環として、スタッフのリーダーを先頭に、長年取り組めていなかったゆるるの団体紹介パンフレットの作成にスタッフ一丸となって取り組み、間もなく完成する。それぞれの得意技を尊重し、役割のコーディネートをする力を蓄えた成果が見えた。スタッフは、1 年を通して事業に追われる日々が続いたが、確実に成長している。次年度はまた一段上った仕事ぶりを期待したい。

■平成 24 年度重点目標に対する対応

1. 月刊杜の伝言板ゆるるを中心に、被災地で活動する NPO の情報発信に力を入れ、復興を支える被災地の NPO の支援を行う。

今年度も月刊ゆるるの紙面を活用し、特集「復興への道」にて被災地支援をする NPO を毎月 5～6 団体取材し、掲載した。情報誌は、ゆるるのホームページの月刊ゆるるコーナーでも PDF のデータで提供していたが、トップページの「お知らせ」や「ゆるブロ」での紹介がほとんどできなかったことは反省点である。

また、宮城県からの委託事業として、平成 23 年 5 月から平成 24 年 1 月までに掲載した団体の中から 42 団体を選び、48 ページとなるフルカラーの冊子として発行した。被災地を忘れない！のメッセージを込めて、県外で発信したほか、県外で開催されたイベントやシンポジウム等で被災地の状況を伝えると共に情報誌や冊子を配布した。

2. NPO 法改正による諸手続きの周知、NPO 法人会計基準の普及、認定 NPO 法人申請支援に最大限努力する。

2012 年 4 月 1 日に改正された特定非営利活動促進法で、所轄庁や諸手続きの変更、会計書類や用語の変更、認定 NPO 法人制度の大幅な見直しがあり、NPO 法人の運営業務に大きな変化のあった一年となった。

法改正による諸手続きの周知については、法人ホームページや月刊誌、指定管理を行っているみやぎ NPO プラザの各種媒体を活用しての告知に加え、講座や相談会の際に多くの NPO 法人に周知を図った。

NPO 法人会計基準の普及に関しては、多くの NPO 法人がスムーズに NPO 法人会計基準を導入できるよう、宮城県「新しい公共支援事業-活動基盤整備支援」を活用し、税理士、公認会計士などの専門家向けセミナーを県内 2 か所、NPO 法人向け会計基準セミナーを 7 か所で開催し、その普及に努めた。また、直接 NPO 法人の事務所に訪問して会計支援を行う会計サポーター養成講座を県内 3 か所で開催、計 18 名の会計サポーターを養成し、県内 35NPO 法人に 59 回の支援を行った。

認定 NPO 法人の普及については、会計同様「新しい公共支援事業-活動基盤整備支援」を活用し、認定 NPO 法人制度についての専門家向けセミナー、NPO 法人向け入門講座、申請書を作成する実践講座 2 回、申請相談会 5 回を開催した。平成 24 年度中に宮城県で所轄庁認定の認定 NPO 法人となったのは、本認定 2 団体、仮認定 1 団体であったが、講座や相談に参加した 29 団体の内 60%にあたる 22 団体が平成 25 年度での申請を検討している。

3. 会員の拡大を図り、寄付の呼びかけを強化する。

正 会 員	46 団体・個人	→	47 団体・個人	
賛 助 会 員	100 団体・個人	→	84 団体・個人	(平成 25 年 5 月 31 日)

認定 NPO 法人申請に向け、会員制度を見直し、会費の支払い方法や未納についての対応についての規定を整備した関係もあり、正会員は横ばいであったものの、賛助会員については、減少する結果となった。

内部整備としては、日本 NPO センターの「市民活動(NPO)育成・強化プロジェクト」の組織基盤強化支援の助成を受け、職員 1 名を社会福祉法人大阪ボランティア協会での 1 週間のインターンに派遣、また寄付集めをテーマに理事・職員研修を 1 回開催後、団体パンフレットを作成して各種事業での配布を行い、支援の呼びかけを強化した。

Ⅱ. 活動に関する事項

1. 被災地の NPO 支援事業

(1) 被災地 NPO のための出前専門相談会

東日本大震災による被災地の復興支援に関し、NPO が大きな役割を果たしているが、活動の長期化に伴って県外からの支援団体の引き上げなどによる復興活動の担い手不足が懸念され、県内 NPO への支援活動のノウハウの移転、活動資金等に関する助言、情報提供などが必要となっている。

このようなことから、NPO の運営（組織運営、人材育成、労務及び会計・税務）に精通した専門家を県内の気仙沼市、石巻市、大崎市、大河原町、亘理町、登米市、名取市の 7 地域へ派遣し、NPO のための専門相談会を全 10 回開催するとともに、助成金や NPO 法改正にともなう注意点などの情報提供会を同日実施した。

相談会へは 69 団体、情報提供会へは 109 名が参加し、アンケートの結果、相談会については 100% の人が「満足」以上と回答し、情報提供会については 98% の人が「満足」以上と回答している。

共催：気仙沼市、亘理町、大崎市、石巻市、名取市、大河原町、登米市

開催内容：①助成金情報、NPO 法改正にともなう注意点などの情報提供会

各回とも 10:00-11:00

②被災地 NPO のための出前専門相談会

各回とも 11:00-16:00（1 団体あたり相談時間約 1 時間）

各回とも 2 名の相談対応者が対応

相談対応者：笹舘公男氏（税理士）

波多野卓司氏（中小企業診断士）

高橋秀一氏（税理士）

成田由加里氏（公認会計士）

大久保朝江（特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるるの代表理事）

甲山知苗（特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるるの理事）

相談会の開催日、会場および参加人数は下表のとおり。

	開催日	会場	参加人数／団体	
			情報提供	個別相談
1	11 月 26 日(月)	気仙沼市役所ワンテン庁舎	25	9
2	11 月 29 日(木)	亘理町役場中央公民館	13	8
3	12 月 5 日(水)	大崎生涯学習センター	9	8
4	12 月 6 日(木)	石巻市役所庁舎	8	8
5	1 月 21 日(月)	大崎市中心公民館	8	3
6	1 月 25 日(金)	名取市市民活動支援センター	8	9
7	1 月 29 日(火)	気仙沼市役所ワンテン庁舎	12	9
8	1 月 31 日(木)	石巻市役所庁舎	12	6
9	2 月 1 日(金)	大河原町役場	4	3
10	2 月 28 日(木)	登米市迫公民館	6	6
計			105 人	69 団体

(2) 被災地の NPO 情報発信事業

全国的に震災への関心が風化してきている。これを踏まえ、宮城県内で震災復興に努める NPO の情報を全国へ発信した。

①フリーペーパー『復興 ing みやぎ with NPO』発行

『月刊杜の伝言板ゆるる』2011 年 5 月号から連載している「復興への道」にて取り上げた約 120 団体から 42 団体を選出し、震災時の被災状況や現在の復興状況、また震災後立ち上がった団体の今後の展望などを掲載。宮城県外へ、被災地で活動する NPO の情報を発信した。

発行形態：A4 判フルカラー 42 ページ 5,000 部

発行：2013 年 3 月 1 日

②全国での『復興 ing みやぎ with NPO』配布活動

下記に記載する全国各地でのイベント等に参加し、宮城県内の復興状況を伝えるとともに、『復興 ing みやぎ with NPO』を配布した。

(i) 震災復興応援イベント「3.11 from KANSAI 2013 ～ 一歩、また一歩 ～ 」

日時：2013 年 3 月 10 日（日）10 時から 17 時 30 分

会場：梅田スカイビル（大阪市北区大淀中 1 丁目 1-88）

(ii) 写真展 東日本大震災 3.11

～あれから 2 年 被災地みやぎも やっと復興の兆しが～

日時：2013 年 3 月 25 日（月）～31 日（日）10 時から 20 時

会場：福岡三越前の「ライオン広場」

(iii) 全国ボランティアコーディネーター研究集会 2013 あいち・なごや

日時：2013 年 3 月 2 日（土）～3 日（日）10 時～17 時

会場：愛知淑徳大学 星ヶ丘キャンパス（名古屋市千種区桜が丘 23）

(iv) 日本 NPO 学会 第 15 回年次大会

日時：2013 年 3 月 16 日（土）～3 月 17 日（日）9：30～18：30

会場：東洋大学・白山キャンパス

(v) その他

月刊杜の伝言板ゆるるの発送に同封、宮城県内の公共施設等に設置配布、東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）などの全国的なネットワークのメーリングや、フェイスブックなどで配布協力を募り、配布した。

※主な県外配布先

株式会社デンソー（愛知県）、藤沢市市民活動推進センター（神奈川県）、株式会社不二製油（大阪府）、阪神 NPO 連絡協議会（兵庫県）、いわて連携復興センター、みやぎ連携復興センター、仙台青年会議所、東日本大震災ルーテル教会 救援

など

③インターネット配信「復興 ing みやぎ with NPO」

WEB サイトを作成し、インターネットを使用した宮城県内 NPO の情報発信を行った。

- ・月刊ゆるるの特集記事「復興への道」で取材した県内の NPO から 42 団体を選定し掲載。
- ・トップページ「NPO's TOPICS」では、県内 NPO の復興イベントなども紹介しリンクさせる。
- ・掲載団体は地図上からも検索出来るようにし、県外の方々が見ても活動拠点を把握できるようにする。

サイト名：復興 ing みやぎ with NPO

URL： <http://miyagi-fukkouing.jp/>

掲載団体： 42 団体

公開日： 3 月 9 日

(3)「復興への道」情報発信事業

昨年度に引き続き、中央共同募金会からの助成を受け、被災地で復興支援に取り組む地元の団体を取り上げる特集「復興への道」を『月刊杜の伝言板ゆるる』内に掲載。発行部数も 10,000 部を継続し、県内全域の公共施設のみならず被災地の仮設団地集会所や県外の支援団体にも情報を発信し続けている。

特集「復興への道」

仕様：A4 判 1 色 6 頁（『月刊杜の伝言板ゆるる』の 2～7 頁）

発行部数：10,000 部

【掲載内容】

	特 集
6 月号	・高齢者向けサービスを通じて被災からの自立をめざす NPO ワタマスマイル（石巻） ・地元住民の声を活かしたまちづくり支援 NPO 法人故郷まちづくりナイン・タウン（登米） ・ニーズに合わせた支援をコーディネート 南三陸町災害ボランティアセンター（南三陸） ・パラソル喫茶で仮設住宅に笑顔を NPO 法人ナルク宮城けやきの会（泉区） ・忘れない 伝えよう つながろう ～震災記録誌を発行～ 泉区福祉ガイドブック作成委員会（泉区） トピックス ・NPO で高校生の夏ボラ体験 2012～10 回目の今年は～
7 月号	・祈りを込めたミサンガづくりを通じて被災からの自立をめざす 気仙沼ボランティアネットワーク聖敬会（気仙沼） ・石巻の被災者の外出をサポート 災害移動支援ボランティア Rera（石巻） ・子どもを亡くした遺族が共に支えあう つむぎの会（青葉区） ・障がい児に新たなチャレンジを NPO 法人ひよこ会（岩沼） ・手作り雑巾で被災者を元気に ACT53 仙台（宮城野区） トピックス SAVE JAPAN プロジェクト みんなで守る水辺の自然 ～第一回 水辺の貴重な生き物観察会を開催～
8 月号	・被災した浜の女性たちが、ビジネスを展開 NPO 法人みらい南三陸（南三陸） ・フリースクールならではの長期復興支援 NPO 法人まきばフリースクール（栗原） ・アフリカと共に支援を NPO 法人アマニ・ヤ・アフリカ（宮城野区） ・被災地へ思い出を、被災地から記録を NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台（宮城野区） ・農業を通して浦戸諸島の魅力を発信 NPO 法人浦戸アイランド倶楽部（塩竈） トピックス ドキドキの夏が始まる！ NPO で高校生の夏ボラ体験 2012 スタート

9 月 号	・「復興への道」～被災した NPO の軌跡、そして未来へ～ NPO 法人杜の伝言板ゆるる（宮城野区） ・子育てしやすい街づくりを目指し、現役ママたちが奮闘 NPO 法人子育て支援ベビースマイル石巻（石巻） ・仮設住宅に暮らす被災者を個別にサポート NPO 法人アクアゆめクラブ（七ヶ浜） ・自分の命は自分で守る NPO 法人防災士会みやぎ（宮城野区） トピックス NPO で高校生の夏ボラ体験 2012 夏ボラ体験も 10 回目
10 月 号	・個別指導で発達障がい児の自立を支える NPO 法人みんなの教室（大崎） ・”手づくり”でつなぐ地域の輪 RQ 被災地女性支援センター（登米） ・被災した子どもの心を受け止める 災害子ども支援ネットワークみやぎ（青葉区） ・震災後の物語を求めて～ショートピース！仙台短篇映画祭 2012 を振り返って 仙台短篇映画祭実行委員会（青葉区） ・玉浦地区の未来を築くために NPO 法人がんばっと!!玉浦（岩沼） ・助け合いの心、募金という形で届けます！ 社会福祉法人宮城県共同募金会（宮城野区）
11 月 号	・窯に再生の火が灯った日 建築と子供たちネットワーク仙台（太白区） ・石巻の子育て駆け込み寺 NPO 法人みやぎ子ども養育支援の会（石巻） ・地域がつながり大きな家族に NPO 法人亘理いちごっこ（亘理） ・その人らしい生き方ができる地域社会のため NPO 法人アフタースクールぱるけ（青葉区） ・誰もが元気になる場をみんなで創る！ LaLaLa Club（登米） トピックス SAVE JAPAN プロジェクト みんなで守る水辺の自然 農業を守ること、自然を守ること
12 月 号	・赤ちゃんを守るママのジャム NPO 法人ピースジャム（気仙沼） ・地域で生きる、学ぶ NPO 法人障碍児と共に歩む会（石巻） ・大切な人を思い出させてくれるラジオ 亘理町臨時災害放送局 FM あおぞら（亘理） ・被災地の子育てをみんなで支えよう！ NPO 法人せんだい杜の子ども劇場（泉区） ・スポーツを通じて元気になろう！ NPO 法人なんでもエンジョイ面瀬クラブ（気仙沼） ・女性たちよ、声上げる勇気を！ 日本女性会議 2012 仙台実行委員会（青葉区）
1 月 号	・太鼓が繋ぐ親と子と地域の絆 NPO 法人 FOR YOU にこにこの家（太白区） ・住民が作ったココロ休まる家 とめコミュニティサポートネット（登米） ・笑顔の集まる、パソコン教室 NPO 法人パソコンママネット（石巻） ・「山と海がつなぐ未来へ」 NPO 法人水守の郷・七ヶ宿（七ヶ宿） ・第五回みやぎ社会貢献大賞報告 財団法人愛知探一福祉振興会（青葉区） トピックス 十年の集大成を音に乗せて NPO 法人ミュージズの夢（青葉区）
2 月 号	・被災地に響いた音のない会話 社団法人宮城県ろうあ協会（宮城野区） ・町の埋もれた歴史・文化を発掘し、活かす NPO 法人 NPO みなとしほがま（塩竈） ・優しいハーモニーを奏でる地域に 奏海の杜（登米） ・気仙沼の復興を支援するパワフルな若者団体 NPO 法人 Tree Seed（気仙沼） ・子どもたちの普段を取り戻すために 宮城県学童保育緊急支援プロジェクト（宮城野区） ・多文化共生のまちづくりへ NPO 法人笑顔のお手伝い（宮城野区）
3 月 号	・3.11 は風化する、だから、記録し続ける NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台（宮城野区） ・未来の気仙沼を見据えて NPO 法人ネットワークオレンジ（気仙沼） ・避難者と地域との懸け橋に NPO 法人さくらんぼくらぶ（登米） ・子どもの遊ぶ声あふれるまちへ NPO 法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク（青葉区） ・福祉をパワーに復興を後押し！ NPO 法人ほっぷの森（青葉区） トピックス 平成二十四年度地域づくり総務大臣表彰団体賞受賞 NPO 法人蔵王のブナと水を守る会（白石）
4 月 号	・震災から 2 年を迎えて 3.11 from KANSAI 実行委員会（大阪） ・利用者本位のサービスをするために NPO 法人なでしこ（岩沼） ・こどもたちの豊かな学びを育むために NPO 法人まなびのたねネットワーク（青葉区） ・スペインタイルを女川復興のシンボルに！ NPO 法人みなとまちセラミカ工房（女川） ・「普通の生活」を取り戻すお手伝い 一般社団法人パーソナルサポートセンター（青葉区）
5 月 号	・山頂から鎮魂の音が響く日に向けて NPO 法人山元・あしたの響き（山元） ・こころの支援の拠点として 一般社団法人震災こころのケア・ネットワークみやぎ（石巻） ・合言葉は「笑顔の種をまこう！」 NPO 法人スマイルシード（石巻） ・ICT でもっと生活を豊かに NPO 法人 ICT 支援 NPO ネットワーク宮城（宮城野区） ・女川に集いの場所を NPO 法人働く場づくりコナモレーw（女川） トピックス 登米の市民活動を応援します NPO 法人とめ市民活動フォーラム（登米）

2. 月刊杜の伝言板ゆるるの発行事業

1997年6月に創刊した『月刊杜の伝言板ゆるる』は今年度で16年目を迎えた。前項で記載した特集「復興への道」のほか、その時々タイムリーなNPO情報を扱う「トピックス」、宮城県からのNPO情報を掲載する「みやぎNPOプラザページ」、さらに助成金情報コーナーや各市民活動団体から寄せられるボランティア募集情報等を掲載する「information」コーナーなどを掲載。県内全域を扱う唯一の市民活動情報誌として、宮城県内の市民活動を支えている。

『月刊杜の伝言板ゆるる』

仕様：A4判1色16頁

発行部数：10000部

配布先：約600か所

(県内公共施設・高等学校、一部仮設住宅、県外支援センター、他)

ページデザイン：結城美穂、齋藤奈緒美

協賛広告：東北労働金庫宮城県本部、かほく「108」クラブ

	トピックス	掲載数	
		info	助成金
6月号	NPOで高校生の夏ボラ体験 2012～10回目の今年は～	29	7
7月号	SAVE JAPAN プロジェクト みんなで守る水辺の自然 ～第一回 水辺の貴重な生き物観察会を開催～	29	4
8月号	ドキドキの夏が始まる！ NPOで高校生の夏ボラ体験 2012 スタート	30	5
9月号	NPOで高校生の夏ボラ体験 2012 夏ボラ体験も10回目	32	5
10月号	なし	33	6
11月号	SAVE JAPAN プロジェクト みんなで守る水辺の自然 農業を守ること、自然を守ること	26	6
12月号	なし	28	5
1月号	十年の集大成を音に乗せて NPO 法人ミューズの夢(青葉区)	28	6
2月号	なし	26	6
3月号	平成二十四年度地域づくり総務大臣表彰団体賞受賞 NPO 法人蔵王の ブナと水を守る会(白石)	27	5
4月号	なし	26	5
5月号	登米の市民活動を応援します NPO 法人とめ市民活動フォーラム(登米)	25	5
情報掲載件数総数		339	65

3. 人材育成事業

(1) NPOで高校生の夏ボラ体験 2012 プログラム

将来、地域の担い手となる若年層がNPOに出会うきっかけを作るため、2003年から始めた「NPOで高校生の夏ボラ体験」プログラムは、今年度で10回目を迎えた。

事前学習会では、昨年度に引き続き、河北新報社より協力を得て「新聞の読み方講座」を開催した。参加した高校生からのアンケートでは、「良くわかった」が大半を占め、「新聞は自分

を成長させるもので、とても大切なものだった」と、「新聞は難しいものじゃない、自分の力になること」といった感想が聞かれた。

体験プログラムは、今年度も3日間のプログラムを中心に実施。受入団体からは、「ボランティアに来ているという気持ちで、積極的に仕事を探そうとする様子があった」、「体験したいという意欲にあふれていて、てきぱきと動いてくれました」、「数多くの高校生が集まることを願う。そのためにも、私達のはたらきかけも大切かと思います」という声が聞かれた。

今年度の成果と課題として、自ら積極的に目的をもって活動に取り組んでいた、という声が多くある一方で、個人個人の取り組み方に差があった、という声も聞かれた。事前学習会時や、ボランティア開始前の連絡時に、あらためて注意点を伝えていきたい。今年度は、事前学習会時に、高校生へのアンケートを実施した。引き続き、次年度開催への検討材料として参考になりたい。

また、ボランティア体験終了後には参加高校生にボランティア体験談を書いてもらい、それをまとめて体験談集として発行した。

共 催	かほく「108」クラブ
協 賛	河北新報社 11 社 東北労働金庫
後 援	宮城県教育委員会 仙台市教育委員会 栗原市教育委員会 登米市教育委員会
	大崎市教育委員会 石巻市教育委員会 岩沼市教育委員会 大河原町教育委員会
体験期間	7 月 24 日～8 月 25 日
事前学習会	7 月 15 日（大崎）、16 日、22 日（仙台）
受入団体	23 団体（マッチング後のキャンセル発生のため、2 団体受入なし）
体験者数	105 名
参加高校数	20 校

・「NPO で高校生の夏ボラ体験 2012 体験談集」

参加した高校生から体験談を集め、体験談集として発行。参加高校生と受け入れ団体、県内すべての高等学校などに配布した。

体験談集仕様：A5 判 1 色 128 頁 400 部

（２）名取市民活動運営支援業務

平成 25 年 5 月 16 日から平成 26 年 3 月 31 日の期間において、名取市から受託した名取市市民活動運営支援業務を実施することが決まった。名取市内の市民活動団体・NPO のため、組織運営に役立つ講座（年 4 回）・相談会（年 15 回）を実施する。平成 24 年度には下記相談会を実施。

①NPO よろず相談会

市民活動団体・NPO が抱えるあらゆる悩み・相談に対して、ゆるるスタッフが対応する。

5 月 23 日（木） 10:00～16:00 相談対応 0 団体

5 月 31 日（金） 10:00～16:00 相談対応 1 団体

4. 会計支援等事業

(1) NP0 法人会計基準の普及

平成 24 年 4 月 1 日施行の改正特定非営利活動促進法により、現在、NP0 法人には NP0 法人会計基準に則した会計書類への変更対応が求められている。NP0 法人が社会の中で健全に発展していくため、その活動を伝える会計の信頼性を高めることは急務である。そこで、NP0 法人の会計強化を目的に、以下の通り事業を実施した。

① 税務・会計専門家向け NP0 法人会計基準研修会

開催日時： 仙台会場 8 月 28 日（火） 9：30～12：30

大崎会場 9 月 12 日（水） 13：30～16：30

講師： 仙台会場 脇坂誠也氏（税理士）

大崎会場 瀧谷和隆氏（税理士）

参加人数： 仙台 17 名、大崎 10 名

② NP0 法人会計基準導入セミナー

開催日時： 大崎会場 11 月 16 日（金）、仙台会場 12 月 12 日（水）

大河原会場 1 月 11 日（金）、石巻会場 1 月 16 日（水）

各日 13：30～16：30

講師： 大崎会場 板倉幸子氏（税理士）、仙台会場 瀧谷和隆氏（税理士）

大河原会場 笹館公男氏（税理士）、石巻会場 及川充氏（㈲石田会計事務所 取締役）

参加人数： 大崎 15 団体 20 名、仙台 24 団体 39 名、大河原 12 団体 16 名、石巻 13 団体 17 名

③ NP0 法人会計基準パンフレット発行

今年度は、新しい公共支援事業で会計講座に加え、会計サポーター事業を展開し、NP0 法人会計基準普及に努めた。その一環として、パンフレットも作成。宮城県内の NP0 支援センター、みやぎ NP0 プラザ開催の講座・専門相談会などで配布をすすめた。今後も会計関連の講座等で引き続き活用し、普及の継続を行う。

タイトル： 市民にとって分かりやすい NP0 法人の計算書類のつくり方

仕様：A4 判 6 頁三つ折見開き両面印刷・カラー刷り 2,000 部

(2) 認定 NP0 法人の申請支援事業

各地で税制優遇の受けられる認定 NP0 法人が増えていく中、震災復興で寄付が集まっているにも関わらず、宮城県では、認定 NP0 法人はまだ数団体。市民から寄付を集めることのできる認定 NP0 法人を増やしていくための下支えが必要という思いから、認定 NP0 法人化へ向けサポートする、新しい公共支援事業第 2 次「NP0 法人会計基準及び認定 NP0 法人普及事業」が採択され実施した。

県内の団体が申請のためのノウハウを学ぶ講座の開催に加え、講座参加団体に申請手続きを支援する専門家に出前相談会を行った。

今後認定 NPO 法人への申請について、認定 NPO 法人申請実践講座および認定申請相談会へ参加した 29 団体へヒアリングを行った結果、すでに申請している団体が 1 団体、その他大半が申請予定という回答だった。このことから、今後認定 NPO 法人申請について相談できる窓口や申請までのサポートが必要である。

① 認定 NPO 法人申請支援専門家研修

開催日時： 仙台 8 月 28 日（火）13：30～16：30
大崎 9 月 12 日（水）9：30～12：30
会 場： 仙台市産業情報プラザ セミナールーム 1
大崎生涯学習センター＜パレットおおさき＞研修室 1
参加者数： 仙台 16 名 大崎 7 名
講 師： 脇坂誠也氏（税理士）
内 容： 宮城県内の仙台市、大崎市の 2 ヶ所の地域において、税理士・公認会計士を対象に、認定 NPO 法人に関しての専門家研修を、東北税理士会の協力を得て開催した。

② 認定 NPO 法人制度をもっと知る講座 めざせ！認定 NPO 法人講座

開催日時： 11 月 1 日（木）14：00～16：00
会 場： みやぎ NPO プラザ 第 2 会議室
参加者数： 29 名
講 師： 関口 宏聡氏（NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会常務理事、プログラム・ディレクター）
内 容： 平成 24 年 4 月 1 日からの改正 NPO 法施行による「仮認定制度」のスタートで認定が取りやすくなったことを受け、認定 NPO 法人をめざす NPO 法人を増やすため、改正された制度や認定要件および基準について学んだ。

③ 認定 NPO 法人申請実践講座

開催日時： ①9 月 18 日（火）、10 月 5 日（金） 両日 10：00～17：00
②11 月 10 日（土）13：30～19：30、
11 月 23 日（金・祝）10：00～17：00
会 場： ①みやぎ NPO プラザ
②11/10 宮城県婦人会館、11/23 みやぎ NPO プラザ 第 2 会議室
参加団体数： ①15 団体 ②9 団体
講 師： 脇坂 誠也氏（税理士）
内 容： 2 日間で認定 NPO 法人制度の概要紹介から申請手続きの流れ、認定申請の要件であるパブリックサポートテスト（P S T）判定、そして申請書作成まで、専門家が個別相談を行いながら指導する。認定 NPO 法人の申請を考えている団体のための実践講座。

④ 認定申請相談会

第 1 回：10 月 27 日（土）宮城県婦人会館第 6 研修室、矢崎 芽生さん（公認会計士）

参加団体：3 団体

第 2 回：11 月 17 日（土）パレットおおさき視聴覚室 板倉 幸子氏（税理士）

参加団体：3 団体

第 3 回：12 月 7 日（金）みやぎ NPO プラザ研修室、矢崎 芽生氏（公認会計士）

参加団体：3 団体

第 4 回：1 月 23 日（水）石巻市 NPO 支援オフィス、矢崎 芽生氏（公認会計士）

参加団体：1 団体

第 5 回：2 月 6 日（水）みやぎ NPO プラザ研修室、板倉 幸子氏（税理士）

参加団体：2 団体

(3) 会計サポーター派遣事業

①会計サポーターの養成

NPO 法人の会計強化にあたり、各 NPO 法人が抱える会計の問題を直接的に支援できる人材(会計サポーター)の育成にも力をいれた。宮城県内 3 か所(仙台市、石巻市、大崎市)において、企業等で経理や財務の実務経験がある一般市民を対象に、その後の NPO 法人派遣を前提とした全 7 回の連続講座を開催した。

■開催日時等

開催場所/参加人数		仙台会場 (参加者：19 名)	石巻会場 (参加者：7 名)	大崎会場 (参加者：7 名)
開催日	第 1 回	9 月 14 日（金）	10 月 18 日（木）	10 月 19 日（金）
	第 2 回	9 月 19 日（水）	10 月 23 日（火）	10 月 26 日（金）
	第 3 回	9 月 21 日（金）	10 月 25 日（木） ※10：00～16：30	10 月 29 日（月）
	第 4 回	10 月 2 日（火）	11 月 5 日（月） ※12：30～18：00	11 月 6 日（火） ※13：00～18：30
	第 5 回	10 月 12 日（金）	11 月 13 日（火）	11 月 14 日（水）
	第 6 回	10 月 17 日（水）	11 月 20 日（火）	11 月 21 日（水）
	第 7 回	11 月 7 日（水）	11 月 27 日（火）	11 月 28 日（水）
開催時間	全日	10：00～16：30	10:30～17：00	10:30～17：00

■カリキュラム 会場により順不同

NPO について、NPO 法について、NPO の活動事例紹介
NPO 法人会計基準について①
NPO 法人会計基準について②、決算書の作成について、監査について
税務について決算書の事例でのワーク
NPO 法人決算書類実態検証を始めるにあたって、実態検証（個人ワーク）
NPO 法人決算書類実態検証（個人ワーク）、ふりかえり・質疑応答
会計ソフト『N-Books』について

講師

佐々木覚亮氏（税理士）、笹舘公男氏（税理士）、瀧谷和隆氏（税理士）、成田由加里氏（公認会計士）、平野由紀子氏（税理士）、大久保朝江（NPO 法人杜の伝言板ゆるる代表理事）

②会計サポーターの派遣

会計サポーター養成講座の受講修了者を対象に、習得度を自己評価にて報告の上、希望者 18 名を会計サポーターとして派遣登録した。NPO 法人の派遣は 1 月から開始し、3 月末までに 35 団体、延べ 59 回の派遣となった。

今回の会計サポーター派遣を利用した NPO 法人全 35 団体に、終了後アンケートをとった結果、31 団体（89%）が、次期総会で「NPO 法人会計基準に則した活動計算書」を作成すると回答。会計サポーターについても、会計の知識等について、大変満足 42%、満足 51% と高い評価を受けた。サポート期間中には、会計サポーター向けのフォローアップとして以下の通り、専門家による定例会も開催している。

今回、派遣期間終了後にも、派遣希望の問い合わせが数件あったことから、会計サポーターへのニーズは高いと考えられる。今後は、引き続き専門家との連携をはかり、現場でのサポートをより充実させ、個々の NPO 法人の会計強化につながるよう事業展開を行う。

会計サポーター定例会

開催日時

①11 月 29 日（木）10：00～12：00 参加者：16 名

②12 月 13 日（木）15：00～17：00 参加者：18 名

③2 月 1 日（金）13：00～16：00 参加者：12 名

④2 月 14 日（木）10：00～12：00 参加者：7 名

⑤3 月 7 日（木）14：30～16：30 参加者：10 名

③自主事業としての会計サポーター派遣事業

宮城県主催で実施した 3 月末までの会計サポーター派遣事業の反応を受け、4 月からは自主事業としての会計サポーター派遣を開始した。今回は有料の派遣としたが、サポートの幅を広げ、基本的な会計等についても要望に応じて対応している。5 月末までには 3 団体へ延べ 6 回派遣し、3 名のサポーターが活動した。今後の活動に向け、サポーター同士の情報共有を目的にメーリングリストの作成や派遣時に役立つ資料の作成も実施している。

（4）新しい公共支援事業による公認会計士派遣業務

NPO は、新しい公共の担い手として復興活動をはじめとする様々な地域課題の解決に向け活動することが期待されている一方で、運営基盤が脆弱で団体管理に当たる人材も不足している。そこで、この事業では、団体運営力を向上させ、平成 24 年度新しい公共の場づくりのためのモデル事業の適切な実施を促進することを目的に、モデル事業実施団体 42 団体に NPO 支援実績を持つ公認会計士を派遣し、モデル事業における会計処理や財務管理について実地指導を行った。

派遣先 平成 24 年度新しい公共の場づくりのためのモデル事業実施団体 42 団体

派遣日時 平成 25 年 1 月 28 日～3 月 27 日

派遣会計士 小山かほる氏、坂元一字氏、佐藤ゆう子氏、成田由加里氏、橋本潤子氏

(5) N-Books 講座

NPO 法人が確かな会計報告を行うために、会計ソフトの使用も有効な手段の一つと言える。

そこで、NPO 法人会計基準に準拠している会計ソフト「N-Books」を例に、実際にパソコンの操作をしながら、会計ソフトの導入や見直しを検討している団体へ向けて、学びの機会の提供を図った。

講座終了後には、N-Books を利用したい、団体内で検討したいという声も聞かれた。また、設定や操作については、今後の開催の希望もあり、定期的な開催も検討したい。

開催日時： 9 月 11 日（火）13：00～18：00 定員 15 名（参加 14 名）

講師： 瀧谷 和隆氏（税理士）

(6) 宮城県 NPO 支援センター助太刀事業

平成 24 年 4 月に改正 NPO 法が施行され、これまで国税庁が行ってきた特定非営利活動法人の認定制度が NPO 法人を所轄する都道府県に移管され、パブリックサポートテストの要件が緩和された。これにより今後増えることが予想される認定 NPO 申請の支援を円滑に進めるため、県内の NPO 支援組織職員と関連行政担当部署の職員を対象に、内閣府の市民活動促進担当職員を講師に招き、認定並びに仮認定の申請書類と手続きについて学ぶ研修を実施した。

日時：平成 24 年 12 月 19 日（水）13:30～16:30

場所：みやぎ NPO プラザ 第 2 会議室

テーマ：認定（仮認定）NPO 法人の申請書類と手続き

講師：内閣府政策統括官（経済社会システム担当）付

参事官（「新しい公共」・市民活動促進担当）付

政策企画専門職 多田 知宏氏

参加者：27 名（内訳：NPO 支援組織職員 14 名、NPO 関係者 2 名、行政関係者 11 名）

4. 拠点運営支援事業

(1) 宮城県民間非営利活動プラザの管理運営

平成 17 年 4 月から指定管理者として運営している、宮城県内の NPO 活動を総合的に推進するための中核機能拠点「みやぎ NPO プラザ」は、平成 23 年 4 月から 5 年間（3 期目）の指定管理者に決定し、継続して管理運営を担っている。

平成 24 年度は、新しい公共の担い手として NPO の信頼性を高めるために、団体の情報公開を促進するための支援や、NPO 法改正に伴う財務諸表の作成の支援や組織基盤の強化に結び付く事業展開を進めた。

①施設管理

(1) 施設利用状況

平成 24 年 6 月から平成 25 年 5 月の利用者は、前年度より 8,807 名減っている。1 ヶ月

の利用者数平均は 4,128 名で、前年度の 4,862 名より 734 名減だった。これは、東日本大震災の災害復旧工事や消防設備の改修工事のため、施設の使用を中止した影響が大きい。特に 8 月は会議室や交流サロン、レストランが使用できなかったほか、ショップスペースや作業室の一部が使用できなかった。

※H24.6.1～H25.5.31

	施設見学	ヒアリング	交流サロン	電話問合せ	情報収集・提供	案内・問合せ	会議室申込		閲覧・縦覧等	会議室使用	NPO相談	パソコン利用	作業室	チラシ等依頼	事務ブース利用	ショップ利用	レストラン利用	計
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	電話	来館	人数	人数	人数	人数	人数	件数	人数	人数	人数	人数
合計	116	1	7,970	2,048	2,000	534	338	811	41	14,306	334	1,660	2,591	1,843	3,273	1,637	10,031	49,534
前年累計	73	3	10,010	2,341	2,342	519	397	918	36	18,168	374	1,607	2,903	1,639	3,539	2,510	10,962	58,341

※NPO相談には専門相談を含む

(ii) 会議室利用状況

東日本大震災の災害復旧工事により、8 月は第 1～第 3 会議室の 3 室の使用を中止したため、利用件数が非常に少ない。また、工事による騒音で会議室の使用に影響がある時は、使用会議室の変更や返金で対応した。

※H24.6.1～H25.5.31

	第1会議室			第2会議室(全面)			第2会議室(分割)			第3会議室			研修室			合計		
	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間
累計	272	4,971	1,109	220	4,618	854	104	702	272	170	1,262	490	313	2,753	1,010	876	11,729	3,050
前年累計	345	6,608	1,290	256	5,642	1,013	153	1,120	387	231	1,736	707	339	3,062	1,006	1,101	15,001	3,721

(iii) コピー機、印刷機使用状況

※H24.6.1～H25.5.31

	コピー機				印刷機				
	モノクロ (枚)	カラー (枚)	合計 (枚)	トナー (本)	利用件数 (件)	製版数 (枚)	印刷枚数 (枚)	インク (本)	マスター (本)
累計	17,307	1,118	18,425	3	1,172	6,487	1,666,516	104	29
前年累計	22,519	1,558	24,077	5	1,187	6,216	1,664,207	116	28

(iv) 事務ブース・常設ショップ・レストラン使用団体への支援

事務室や常設ショップ、レストランの利用団体が入居期間中に力をつけていけるよう、施設の使用報告書や利用者懇談会等で活動状況を把握し、課題解決のアドバイスをしたほか、専門相談や講座参加につなげた。特に講座については、活用しやすいように受講料を一般参加者より安価に設定した。

(v) 施設見学および運営ヒアリング

施設見学は 17 件 (NPO9 件、行政 5 件、学校関係 3 件)、116 名に対応し、みやぎ NPO プラザの機能を紹介した。また、プラザ運営についてのヒアリングは他県の NPO 支援センターからの 1 件に対応し、運営の状況などを説明した。

(vi) 事務室等施設使用団体選考審査会

民間非営利活動拠点施設条例により、事務室、常設ショップ使用団体を公募し、選考審査会において決定した。

- ・第1回：7月26日（木）、事務室（大）（中）（小）使用団体決定
- ・第2回：2月22日（金）、事務室（中）、常設ショップ使用団体決定

②消防設備工事、災害復旧工事

（i）消防設備工事

6月から7月にかけて、全館の消防設備の改修工事が行われた。みやぎ NPO プラザは、各所に非常用スピーカーが埋設された。

（ii）災害復旧工事

平成23年度から準備が進められてきた災害復旧工事が8月から11月にかけて行われた。特に被害の大きかった、第1、第2、第3会議室、共同作業室、交流サロン、常設ショップスペース、レストランの工事を8月に行うため、利用者に当該施設の工事実施と使用中止の周知を徹底するとともに、工事の協力を呼びかけた。

また、8月末から10月半ばまで施設南北に足場を組み、外壁工事を行った。

③インターネット情報サイト（みやぎ NPO 情報ネット）運用業務

NPO が主催するイベントやボランティア・有給スタッフ募集情報、NPO に対する助成金情報等の収集と掲載に力を入れたほか、みやぎ NPO プラザ開催の講座や無料専門相談等のページを作成し、終了後は開催報告を掲載した。サイトマップの新規作成や NPO 法人認証団体情報ページの大幅修正などを行い、更に使いやすいサイト作りに努めた。

また、東日本大震災後に作成した「NPO が募集する震災関連ボランティア」「震災関連の助成金情報」「震災関連の支援情報」を随時更新した。中でも助成金情報については、アクセス解析によりその需要の高さが見えたため、力を入れた。

（i）みやぎ NPO 情報ネット更新件数（H24：2012.6.1～2013.5.31）

	訪問者数	ページビュー数	トップページアクセス数	新規データアップ				情報の変更・取り下げ	TOP変更・更新	企画事業	相談	団体検索登録	宮城県推進班	国・宮城県各課・市町村	その他更新	合計	管理日数
				ゆるる提供	情報ネット	プラザ窓口	助成金										
H24合計	285,569	1,012,709	80,592	345	278	790	328	2,500	281	227	40	8	13	50	577	5,438	291
H23合計	276,710	981,449	84,556	250	216	891	280	2,265	229	190	39	25	15	44	535	4,979	286

（ii）みやぎ NPO 情報ネットメールマガジン（H24：2012.6.1～2013.5.31）

	NPO支援情報 （トピックス）	NPOプラザ からのお知らせ	助成金情報	NPO法人 認証情報	その他	合計
H24合計	73	82	131	85	0	371
H23合計	69	60	94	37	3	263

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	累計
新規登録	12	12	6	21	17	21	3	14	12	8	12	14	126
登録解除	1	0	1	1	2	1	2	0	0	1	3	1	9

総登録者数 588

(iii) みやぎ NPO プラザブログ～おむすび日記～ (H24 : 2012.6.1～2013.5.31)

	新規エントリー数				合計
	情報チーム 日誌	NPOプラザの 近況	50歳からの NPO実践塾	NPO法人 認証情報	
H24合計	4	104	19	11	138
H23合計	6	129	21	25	181

④みやぎ NPO プラザの情報誌編集・発行業務

(i) One to One 発行

- ・発行日：年 6 回 奇数月(7・9・11・1・3・5月)の1日
- ・発行部数：3,000 部
- ・仕様：A3 判 2 つ折り カラー1 色印刷

(ii) 月刊杜の伝言板ゆるる プラザページ

- ・発行日：毎月 1 日
- ・発行部数：10,000 部
- ・仕様：A4 判 1 ページ カラー1 色印刷

※主な配布先：県内各市町村(42 箇所)、県地方振興事務所(7 箇所)、県内 NPO 支援施設(12 施設)、プラザ運営評議委員、仙台市内の公共施設(7 施設)、仙台市市民センター、県外の NPO 支援施設・団体(15 ヶ所)など

⑤NPO の促進・団体の育成等に関する相談業務

(i) 専門相談

専門相談として、館長による法人設立・団体運営相談を毎週水曜日に開催したほか、税理士や公認会計士による会計税務相談を毎月、社会保険労務士による雇用なんでも相談を4月と2月、中小企業診断士による経営相談を6月、8月、10月、12月に相談日を設けて開催し、合計114件の相談に対応した。

※H24.6.1～H25.5.31

	H24合計	H23合計
会計・税務	36	23
雇用なんでも	8	4
経営	5	6
法人設立・団体運営	65	64
合計	114	97

(ii) 窓口相談

窓口や電話での相談には、スタッフが対応した。合計183件対応。震災復旧活動を続けてきた任意団体の NPO 法人申請や、NPO 法改正に伴う相談が多かった。専門性が高いものは専門相談につなぐなどし、正確な情報を伝えるように心がけた。

⑥NPO の促進・団体の育成等に関する研修業務 (平成 24 年 6 月 1 日～平成 25 年 5 月 31 日)

(i) NPO 運営のためのマネジメント講座

NPO の運営一般、人材育成に関する「NPO マネジメント講座」を、5 講座開催した。

参加者の総数は、109 名（平均 22 名）。※定員の 20 名を超えた講座は、5 講座中 2 講座だった。

	講座名	講師	日時	参加者数
1	NPO 夜学 ～あなたにもできる市民活動～	大久保朝江 (特活) 杜の伝言板ゆるる代表理事	2012/8/30(木) 19:00～21:00	18
2	マスコミに注目される！ プレスリリースの方法	吉川由美氏 (有)ダハブランニングワーク代表取締役	2012/9/26(水) 14:00～16:00	29
3	疑問を解決！ NPO 法人設立講座	大久保朝江 (特活) 杜の伝言板ゆるる代表理事	2012/10/3(水) 14:00～16:00	30
4	NPO のための定款の変更講座	大久保朝江 (特活) 杜の伝言板ゆるる代表理事	2013/1/18(金) 13:30～15:30	15
5	総会運営のコツ	大久保朝江 (特活) 杜の伝言板ゆるる代表理事	2013/3/7(木) 14:00～16:00	17

(ii) NPO の会計・税務・決算等の講座

NPO の会計・税務に関する「NPO のための会計税務講座」を、6 講座開催した。参加者の総数は、137 名（平均 23 名）。※定員の 20 名を超えた講座は、6 講座中 5 講座だった。

	講座名	講師	日時	参加者数
1	ミスや不正を防ぐお金の管理のしくみ	成田由加里氏 公認会計士／税理士	2012/6/21 (木) 13:30～16:30	25
2	NPO のための税金初級講座 NPO にかかる税金あれこれ	平野由紀子氏 税理士	2012/10/3 (火) 13:30～16:30	24
3	NPO のための法人税講座	平野由紀子氏 税理士	2013/1/24 (木) 13:30～16:30	18
4	信頼される NPO になるための 新しい財務諸表の作り方	成田由加里氏 公認会計士／税理士	2013/2/6 (水) 13:00～16:00	26
5	NPO 法人の会計監査のポイント	橋本潤子氏／公認会計士／（特活） せんだい杜の子ども劇場理事	2013/3/15 (金) 13:00～16:00	21
6	NPO 法人の決算書作成講座	成田由加里氏 公認会計士／税理士	2013/4/18 (木) 13:00～16:00	23

(iii) 出前講座

県域の NPO の基盤整備を支援するため、年 3 回開催。NPO の運営に役立つ講座や情報交換などを行った。この講座は、指定管理協定書の事業仕様書にはない、指定管理者の提案事業である。

	講座名	講師	日時（会場）	参加者数
1	押さえておきたい！ 改正 NPO 法理解講座 in けんぽく	大久保朝江 (特活) 杜の伝言板ゆるる代表理事	2012/7/12 (木) 14:00～16:00 登米市迫公民館	20
2	押さえておきたい！ 改正 NPO 法理解講座 in せんなん	大久保朝江 (特活) 杜の伝言板ゆるる代表理事	2012/7/18 (水) 18:30～20:30 柴田町まちづくり推進センター	18
3	押さえておきたい！ 改正 NPO 法理解講座 in いしのまき	大久保朝江 (特活) 杜の伝言板ゆるる代表理事	2012/7/25 (水) 14:00～16:00 石巻市役所 401 会議室	30

⑦NPO に関する行政職員の理解促進事業

行政職員を対象に、NPO を取り巻く環境や基礎的な理解を深めるため年 1 回開催している。
市町村担当課との情報交換の場ともなっている。

講座名：行政職員のための NPO 理解講座

講師：大久保朝江（特活）杜の伝言板ゆるる代表理事

日時：2013 年 5 月 21 日（火）14:00～16:00

参加者数：26 人

⑧NPO 支援施設および中間支援組織の育成支援事業

宮城県内の NPO 支援施設で働くスタッフや民間 NPO 支援組織のスタッフを対象に、緩やかなネットワークを構築して、NPO 支援に必要なスキルを学び、情報交換や共有をすることで、宮城の NPO 支援力を高める機会を提供した。

(i) NPO 支援センター研修

	講座名	講師	日時	参加者数
※ N P	NPO 法人 VS 一般社団法人	脇坂誠也氏 税理士／NPO 法人 NPO 会計税務 専門家ネットワーク理事長	2012/7/29（金） 14:00～16:00	20
の 2	NPO のための Facebook 活用講座 Facebook で広報活動大作戦！	山田泰久氏 日本財団 CANPAN マネージャー	2012/11/18（日） 10:00～12:00	5※
た 3 め の F	東北の NPO 支援の現状と、求め られる NPO 支援	情報交換が中心のため、講師は なし	2013/2/16（土） 13:00～18:00 2013/2/17（日） 9:00～12:00	17

Facebook 活用講座は NPO フォーラム 2012 の一環で開催し、講座参加者全 26 名中 5 名が NPO 支援センター研修として参加。

(ii) NPO 支援組織の育成支援

県内の NPO 支援施設及び NPO 支援組織との協働により、各県域での情報交換の機会を創出するほか、地域との連携を通して県内の NPO の基盤整備に貢献していくことを目的に NPO 支援連携事業を展開した。

・とめ市民活動プラザへスタッフ派遣

4 月のオープン以降、スタッフを派遣し、ネット接続や情報誌作成のサポートのため、訪問（6/27, 12/13 の 2 回）。また、電話・メール等で、随時、スタッフからの相談に対応。相談内容は、主に、来館者の集計方法や報告書作成方法、日々の会計処理など。

⑨民間非営利活動に係る調査及び研究業務

平成 22 年 7 月に NPO 法人会計基準が策定されたことや、平成 24 年 4 月に NPO 法が改正され、収支計算書から活動計算書に変わったことなどから、NPO のより信が高まる会計報告を進めるため、公認会計士や税理士、行政職員、NPO 支援組織や施設の職員による「NPO 法人会計基準研究会」が 4 月以降隔月に行われ、NPO 法人会計基準の研究や普及について協議された。

みやぎ NPO プラザも研究会に参加するとともに、事務局業務を担い、運営に協力した。

⑩みやぎ NPO プラザ NPO フォーラム

NPO が地域のさまざまな課題の解決に向けて活発に活動し、よりよい市民社会を構築できるよう、出会いや学びの機会をつくとともに、活動の担い手や支援者を増やすため、市民の NPO 理解促進と、市民と NPO の交流の場を提供することを目的に開催した。

(i) 事業概要

事業名	みやぎ NPO プラザ NPO フォーラム 2012 ～知ろう、学ぼう、始めよう！～
対象	市民および県内の NPO、市民活動団体
開催日時	平成 24 年 11 月 18 日（日）10：30～16：30
会場	みやぎ NPO プラザ全館
主催	宮城県（みやぎ NPO プラザ）
企画・実施	NPO 法人杜の伝言板ゆるる
来場者数	248 名
当日運営	プラザスタッフ 8 名のほか、ボランティア 5 名の効力を得て運営。

(ii) 交流サロン

内 容	【講座】 NPO のための Facebook 活用講座 Facebook で広報活動大作戦！！ ◆講師 山田泰久氏 （日本財団CANPANマネージャー、日本ソーシャルブログ協会会長）
時 間	10:00～12:00
参加者数	26 名
参加費	800 円
内 容	【パネルディスカッション】 あの NPO リーダーに聞く！NPO の組織運営のコツ ◆パネラー（50 音順） 齋藤純子氏（NPO 法人せんだい杜の子ども劇場代表理事） 白木福次郎氏（NPO 法人ほっぷの森理事長） 土佐昭一郎氏（NPO 法人ミヤギユースセンター理事長） ◆コーディネーター 大久保朝江（みやぎ NPO プラザ館長、NPO 法人杜の伝言板ゆるる代表理事）
時 間	13:00～15:00
参加者数	36 名（他パネリスト 3 名、コーディネーター 1 名、スタッフ 1 名）
内 容	大交流会 参加者同士の交流を広げ、NPO への理解を深め、未来について語り合しましょう！
時 間	15:30～16:30 頃
定 員	36 名（スタッフ含む）※キャンセル 5 名
参加費	1,500 円

(iii) 会議室（4 室）みやぎの NPO ひろば

団体名	クेशユの会
テーマ	「下着と軽失禁パッドの選び方・使い方&アロマ de 癒しの骨盤底筋体操（失禁予防体操）」
団体名	フラワーセラピー研究会仙台
テーマ	「花でコミュニケーション」
団体名	NPO 法人アマニ・ヤ・アフリカ
テーマ	「ケニアに通い続けて 14 年」

団 体 名	NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台
テ ー マ	「昭和の仙台」上映会」(解説付き) 「クラシカルセンダイ」上映会
団 体 名	I C T 支援 NPO ネットワーク宮城
テ ー マ	「タブレットを触ってみよう」
団 体 名	NPO 法人シャロームの会
テ ー マ	「ありのままのあなたが素晴らしい」

(iv) NPO のお店コーナー (来場者 87 名)

団 体 名	NPO 法人アマニ・ヤ・アフリカ
販 売 物	ケニアの布で作成した小物入れ、キーホルダー、ネックレスなどのアクセサリーなど
団 体 名	仙台生ごみリサイクルネットワーク
販 売 物	リサイクルせっけん、無農薬ねぎ、大根
団 体 名	NPO 法人とうほく食育実践協会
販 売 物	フェアトレード商品 (オリーブオイル、コーヒー、バナナ、砂糖など)

⑪ NPO 法人設立および運営についての情報交換会

平成 24 年 4 月の改正 NPO 法の施行後、法人設立や報告、定款変更などの相談対応状況などの現状と課題を共有し、事業企画や相談業務に活かすため、みやぎ NPO プラザから、宮城県や仙台市の担当課職員および仙台市市民活動サポートセンターなどの職員に呼び掛けて情報交換会を 4 回開催した。

⑫ 50 歳からの NPO 実践塾

(i) 第 11～13 期実践塾 (第 11 期は第 3 回から平成 24 年度)

シニア世代の NPO 活動への参加促進のために連続講座として開催し、NPO の立ち上げや、NPO の継続活動の実践につなぐために実施。参加対象は「団塊の世代」を中心とした 50 代以降の年齢層。塾長はみやぎ NPO プラザ館長が務めた。

参加者同士の交流や情報交換が気軽にできるよう、第 9 期から講座の後に懇談タイムを設け、現在も継続している。第 1～13 期の卒塾生は、143 名になった。

	第 11 期	第 12 期	第 13 期
実施日	(①5/12、②5/26、③6/9、④6/23、⑤7/7、⑥7/21 すべて土曜日	①9/29、②10/13、③10/27、④11/10、⑤11/24、⑥12/8 すべて土曜日	①1/19、②2/2、③2/16、④3/2、⑤3/16、⑥3/30 すべて土曜日
時間	14:00～16:00 懇談タイム 16:00～16:30(参加自由)	14:00～16:00 懇談タイム 16:00～16:30(参加自由)	14:00～16:00 懇談タイム 16:00～16:30(参加自由)
参加者数	16 名	11 名	9 名

(ii) フォローアップセミナー

卒塾生を対象に、近況報告や交流および情報交換を行うため、8 月 25 日(土)に開催した。その後、フォローアップを実践塾修了生自ら企画運営してもらうよう、実行委員会を立ち上げようと会議を数回行った結果、今後活動していくための情報交換の場として、任意団体を立ち上げることになった。現在、月 1 回会員同士で、市民活動を始めるための情報交換会を行っている。

⑬みやぎ NPO プラザ運営評議会の開催

宮城県民間非営利活動プラザ運営評議会設置要綱に基づき、年 2 回開催。

開催日： 1 月 30 日（水）13：30～15：30

5 月 29 日（水）13：30～15：30

⑭その他、施設の設置目的を達成するための企画業務

（i）利用者懇談会の開催

みやぎ NPO プラザのよりよい活用を検討するため、日頃から使用している団体との意見交換および利用団体間の情報交換の場として開催。第 1 回目は、約半数が初めての参加だった。第 2 回目は事務室やレストランなど、プラザを拠点に活動している利用団体の活動の様子を聞き、情報共有や団体間の交流を図ることができた。

日 時	9 月 13 日（水）18：30～20：00
参 加 者 数	13 名（利用者 9 名、プラザ 4 名）
内 容	プラザへの要望、団体が抱える課題（活動拠点の確保、活動資金や人材の確保について）等の情報交換、プラザの事業紹介など
日 時	2 月 21 日（木）14：00～15：30
参 加 者 数	11 名（事務室等使用団体 7 名、プラザ 4 名）
内 容	事務室、ショップ、レストラン使用団体を対象に開催。団体の活動状況や、抱える課題、その対応策などについて情報交換

（ii）NPO の書籍販売代行

NPO の情報を広く伝えるため、NPO が発行した書籍等の販売を代行した。受託団体は指定管理者を含む 7 団体。書籍の種類は 16 種類で、88 冊販売した。

（2）名取市市民活動支援基盤整備事業

平成 25 年 5 月 16 日から平成 26 年 3 月 31 日の期間において、名取市から受託した名取市市民活動支援基盤整備事業を実施することが決まった。

名取市内で活動する NPO、各種団体、企業、有識者などから有志を募り、今後名取市で NPO 支援を行っていく中間支援組織の立ち上げ支援を実施し、市民活動団体・NPO への支援基盤を構築する。

5. NPO 等連携事業

（1）SAVE JAPANプロジェクト

SAVE JAPAN プロジェクトは、株式会社損害保険ジャパン（以下、損保ジャパン）からの寄付を受け、2011 年 4 月から開始。全国的环境 NPO と各地の NPO 支援センター、日本 NPO センター、損保ジャパンが主体となって、2011 年度 12 か所で生き物が住みやすい環境を保全する体験型のプログラムを実施した。

そのプログラムを参考に、2012 年度は日本全国 47 都道府県でプロジェクトが行われることになり、宮城県では、シナイモツゴ郷の会、杜の伝言板ゆるるが年間 3 回のプログラムを実施。

年間3回のプログラムを通して、絶滅危惧種の保護と復元に取り組む鹿島台の人々の活動を、都市部の小学生、親子に知ってもらい、実際にシナイモツゴの産卵観察や小川での生き物調査を体験することで、自然や自然再生について学んだ。6、9月の参加者のアンケートでは、参加者のほとんどから「また参加したい」という回答を得た。そして、「このような生き物の保護をしている活動を全く知りませんでした。もっと多くの人に知って参加してもらいたい」、「大切な魚が、いつもでもすみ続けられるよう、取り組んでください」といった感想があった。これまでなかなかNPOの環境プログラムに参加のなかった市民にも、地域に根付く希少生物に触れ知る機会を提供することができた。

最終プログラムでは、まとめとなるシンポジウムを開き、今回の取り組みを紹介し、多くの市民の方が今年度のSAVE JAPANプログラムを知る機会となった。

年間プログラム名：みんなで守る水辺の自然

実施団体：特定非営利活動法人シナイモツゴ郷の会

運営支援団体：特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

全体活動支援者：認定特定非営利活動法人日本NPOセンター

寄付者：株式会社損害保険ジャパン

開催プログラム① 自然と触れ合う 水辺の貴重な生き物観察会

開催日時：6月17日（日）9:00～17:00

参加者数：39名

内 容：シナイモツゴが繁殖している池とゼニタナゴが住む小川の体験観察会の開催。繁殖池で産卵ポットに産卵する、シナイモツゴの生態を観察し、小川で生き物調査を行った。

開催プログラム② ゼニタナゴと出会い、自然の恵みを味わう！

開催日時：9月30日（日）9:00～17:00

参加者数：34名

内 容：シナイモツゴ郷の米の収穫を親子で体験し、それを取り巻く環境について学び、自然の恵みを味わう。

開催プログラム③ 共同シンポジウム「水辺の自然再生 よみがえる魚たちⅡ」

開催日時：11月3日（土）10:00～12:00

参加者数：80名

内 容：地域一体となって、希少生物である、シナイモツゴや、ゼニタナゴの保護と復元に取り組んでいること。そして、米づくりの「ため池」が、シナイモツゴ繁殖の好適な環境ということから、農家と協力して、このため池の水を使った「シナイモツゴ郷の米」について、シナイモツゴ郷の会、かしまだいシナイモツゴ郷の米づくり手の会から、それぞれ説明。その他、シナイモツゴの稚魚を育てる「里親制度」で連携している小学生からの発表や、今回のSAVE JAPANプロジェクトの取り組みを紹介した。

(2) とめ市民活動支援協議会事務局運営

登米市及び NPO 支援組織である杜の伝言板ゆるる、並びに登米市の中間支援組織検討委員会の委員だった NPO や企業のメンバーが中心となって構成されたとめ市民活動フォーラムの 3 者でとめ市民活動支援協議会を設立し、それに属するメンバーによる運営委員会の会議体を設置した。運営委員会は、毎月開催し、事業運営について協議した。

協議会は、登米市の市民協働のまちづくりを進めるため、市民活動やコミュニティ活動をする団体を支援していく拠点「とめ市民活動プラザ」を設置し、NPO 等の運営相談や講座等を実施した。また、事業終了後、支援拠点事業を引き継いでいける組織「とめ市民活動フォーラム」を設立し、NPO 法人化していく人材育成を実施した。

① 支援拠点「とめ市民活動プラザ」のを開設。

- ・ 打合せや簡単なミーティングができる交流サロンスペースを市民に貸し出した。
- ・ 印刷機やコピー機を設置し、市民活動団体に提供した。
- ・ 施設の開館は、以下の通り。

火曜～日曜日までの週 6 日間、10 時から 18 時まで 1 日 8 時間

② 市民活動の支援に当る常駐スタッフ 2 名を雇用し、常駐させた。

③ 雇用スタッフの研修を実施。

NPO の組織基盤の整備に必要な学びの場に参加した。

④ 登米市の市民活動団体を対象に組織の基盤整備に必要な講座等を 2 回開催したほか、みやぎ NPO プラザや（特活）杜の伝言板ゆるるが受託した宮城県の講座をとめ市民活動支援協議会が協力して開催した。

⑤ 団体の設立や会計、ボランティア育成などの相談会を毎月 1 回開催した。

⑥ 登米市の市民活動に関する情報紙「ぷらっと・とめ」を隔月発行したほか、ブログやホームページで情報の受発信をした。

上記事業実施において、事業全般の資金管理及び雇用スタッフの人事管理、運営委員会開催の事務局をとめ市民活動支援協議会から特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるるに委託した。

(3) みやぎ NPO 情報公開システム運用協議会

宮城県内の NPO 情報を、市域を超えて一元的に検索・登録することができる「みやぎ情報公開システム」を構築するため、仙台市、NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター、杜の伝言板ゆるるの 3 者が協力して、平成 24 年 8 月に協議会を設立し、宮城県の新しい公共の場づくりのためのモデル事業に応募、10 月に「宮城県の NPO 情報公開システム構築事業」への補助が決定した。当法人が、その事務局を担当し、10 月よりシステム設計のための開発会議を 7 回開催し、1000 団体を超える県内市民活動団体の調査を実施。3 月に、そのデータを登録した情報サイト「みやぎ NPO ナビ」を開設した。この事業を通じて、全県規模で自治体の枠を越えて官民が共有し、共同管理する市民活動団体データベースとその情報を検索できる仕組みを誕生させた。

① みやぎ NPO 情報公開システム開発会議の開催

みやぎ NPO 情報公開システム構築と開設、その運用等を検討するため 7 回の開発会議を開催した。

- ①10月11日（木） 13:00～15:00
- ②10月25日（木） 15:30～17:00
- ③11月8日（木） 13:30～15:30
- ④12月7日（金） 10:00～12:00
- ⑤12月19日（金） 13:00～13:30
- ⑥2月18日（月） 17:45～20:00
- ⑦3月15日（金） 13:30～16:00

②団体調査の実施

新たに構築するみやぎ NPO 情報公開システムに登録する情報を整備するため、宮城県内の市民活動団体の情報を収集し、団体情報の更新と同時に、掲載内容についての確認を行った。

実施期間 1月21日～3月18日

調査団体 1492 団体（内、回答団体 628 団体）

調査結果 回答団体数 計 628 団体（回答率 42%）

③みやぎ NPO 情報公開システム「みやぎ NPO ナビ」サイト構築

みやぎ NPO 情報公開システム開発会議で検討したサイトを構築。

④共同運営体制の整備

新たに開設したみやぎ NPO 情報公開システム「みやぎ NPO ナビ」の運営について、NPO 支援施設を持つ自治体へ参加を呼びかけ、平成 25 年度以降の運営体制を整備した。

対象自治体 NPO 支援施設が設置されている自治体

呼びかけ自治体 気仙沼市、栗原市、登米市、大崎市、石巻市、多賀城市、名取市

参加承認自治体 気仙沼市、栗原市、登米市、大崎市、石巻市、名取市

(4) 市民活動団体（NPO） 育成・強化プロジェクト事務局支援事業

6月～8月まで宮城県内で県央・県北を会場に 11 回にわたり開催された集合研修「NPO を磨く 15 の力」と 9 月に開催された東北 3 県のメンバーの合同研修「第 1 回 全体会議」に現地事務局として参加し、運営協力を行った。

6. 交流事業

(1) 東北六県 NPO 支援センター情報交換会

平成 24 年度の新しい試みとして、みやぎ NPO プラザと共催で、東北 6 県と宮城県内の NPO 支援の現状と課題を共有し、今後の運営に活かすための研修と情報交換を実施した。

県内の支援施設と東北全域の支援センターとの情報共有とネットワークの構築を図ることができた。

日時：平成 25 年 2 月 16 日（土）13:30～17 日（日）12:00

場所：東北自治総合研修センター

目的：東北 6 県の支援センターを運営する団体との情報交換・交流を通じて、東北 6 県と宮城県内の NPO 支援の現状と課題を共有し、今後、支援センターに求められる機能と役割について学ぶ。

テーマ：「東北の NPO 支援の現状と、求められる NPO 支援」

内容：東北 6 県の NPO 支援センターから各県の NPO 支援の現状報告

出席団体および施設の現状報告

情報交換

① 認定 NPO 法人の申請支援について

② NPO 法人会計基準の導入支援について

参加団体：青森 1 団体 1 名、秋田 2 団体 2 名、山形 2 団体 2 名、福島 1 団体 1 名

宮城 6 団体 14 名（内、当法人より 6 名参加）

(2) 法人設立 10 周年事業

法人設立 10 年を迎え、被災した NPO への寄付を呼びかける募金サイト「復興みやぎ」で支援してきた 9 団体と共に、東日本大震災で被災した NPO の復興の道のりを語り合い、この度の震災で改めて脚光を浴びた NPO の存在を確認する事業を実施した。直接提供する資源を持たない NPO 支援組織であっても資源を持つ側と支援が必要な NPO を繋ぐ役目を果たすことで、地域を支える NPO を確かに支えることが出来ることを再確認した。

日時：2012 年 7 月 28 日（土）15:30～17:30

場所：宮城県婦人会館 第 1 研修室

参加者：80 名

報告団体：NPO 法人泉里会 理事長 森谷隆三氏（気仙沼市）

NPO 法人どんぐりの家 代表理事 石川志穂子氏（登米市）

NPO 法人なごみ 事務局長 皆川幸恵氏（気仙沼市）

NPO 法人みやぎ身体障害者サポートクラブ 理事長 野澤タキ子氏（栗原市）

NPO 法人輝くなかまチャレンジド 理事 熊井睦子氏（石巻市）

NPO 法人住民互助福祉団体ささえ愛山元 代表理事 中村玲子氏（山元町）

NPO 法人創る村 理事 飴屋善太氏（東松島市）

NPO 法人のんびりすみちゃんの家 代表理事 伊藤寿美子氏（東松島市）

NPO 法人みどり会 理事長 尾崎正光氏（仙台市）

コーディネーター：NPO 法人杜の伝言板ゆるる 代表理事 大久保朝江

後援：宮城県、河北新報社、東北労働金庫、かほく「108」クラブ

公益財団法人フィランソロピー協会、NPO 法人日本 NPO センター、NPO 法人市民社会創造ファンド

7. その他の支援事業

(1) NPO の基盤整備に関する書籍類の紹介及び販売

NPO の基盤整備に関する書籍類の紹介及び販売を継続的に実施し、情報提供と活動支援を行った。

冊子名	発行者（団体）	内容
NPO 会計基準完全収録版	NPO 法人会計基準協議会	NPO 法人会計基準及びガイドライン、Q & A を掲載。

NPO 会計基準完全収録版第 2 版	NPO 法人会計基準協議会	NPO 法人会計基準及びガイドライン、Q & A を掲載。 一部改正の項目、それに伴う様式例の変更、《Q&A》の記述の変更などを記載し、 所轄庁の「手引き」との相違点を説明した《Q&A》50-1 も新しく追加。
知っておきたい NPO のこと「基礎編」	NPO 法人日本 NPO センター	平成 24 年 4 月の NPO 法改正に合わせ、 これまでの「知っておきたい NPO のこと【増補版】」をリニューアルし、タイトルも「基本編」に変更。 「信頼される NPO の 7 つの条件」と、Web サイト NPO 広場で公開中の「NPO 基礎知識 Q & A」を再編集し、掲載。
知っておきたい NPO のこと「協働編」	NPO 法人日本 NPO センター	「行政と協働する NPO の姿勢」「NPO と協働する行政職員の姿勢」をそれぞれの視点から掲載。
NPO 法人の理事・監事のための業務チェックリスト	NPO 支援東京会議・NPO 法人会計支援センター	理事・監事の基礎知識から監査報告書の作成例と参考事例まで掲載。

(2) 講師等の派遣

行政や NPO、社会福祉協議会等からの依頼により、ボランティアや市民活動、NPO に関する講演や研修などの講師を派遣した。

月日	派遣先
6 月 6 日	いきいき学園仙南校講演
6 月 11 日	大阪 3.11 まだまだこれからパネルディスカッション
6 月 25 日	東北福祉大学ボランティア活動論講義
7 月 12 日	みやぎ NPO プラザ出前講座(登米市)
7 月 18 日	みやぎ NPO プラザ出前講座(柴田町)
7 月 25 日	みやぎ NPO プラザ出前講座(石巻市)
8 月 28 日	加美町市民活動基礎講座講師
8 月 30 日	みやぎ NPO プラザ NPO 夜学講師
10 月 3 日	みやぎ NPO プラザ NPO 法人設立講座
10 月 5 日	宮城県新人職員研修
10 月 22 日	製薬会社「広瀬の会」講演
10 月 26 日	宮城県新人職員研修
11 月 5 日	北海道 NPO サポートセンター研修
11 月 7 日	加美町市民活動スタートアップ講座①
11 月 8 日	とめ市民活動プラザ 助成金いろは講座
11 月 13 日	柴田町市民活動講座①
11 月 17 日	加美町市民活動スタートアップ講座②
11 月 15 日	北海道 NPO サポートセンター研修会講師
11 月 28 日	加美町市民活動スタートアップ講座③
11 月 29 日	柴田町まちづくり講座②
12 月 5 日	加美町市民活動スタートアップ講座④
12 月 13 日	柴田町まちづくり講座③
12 月 15 日	加美町市民活動スタートアップ講座⑤
1 月 18 日	みやぎ NPO プラザ 定款の変更講座
1 月 22 日	柴田町まちづくり講座④
1 月 23 日	登米市セカンドライフ講座①
1 月 26 日	宮城県災害ボランティアフォーラム基調講演
2 月 7 日	柴田町まちづくり講座⑤
2 月 15 日	登米市 セカンドライフ講座②

2月24日	長崎県県民ボランティアフェスティバル講演
3月19日	ミドル・シニアのための NPO チャレンジ講座（秋田県）
3月24日	NPO のためのマネジメント講座 in くりはら
3月26日	ミドル・シニアのための NPO チャレンジ講座（秋田県）
3月31日	みやぎジョネット ファシリテーション講座
4月13日	日本 NPO 学会市民社会研究フォーラム
5月21日	行政職員のための NPO 理解講座

(3) ヒアリング

- 9月21日 公益財団法人損保ジャパン記念財団 来訪
- 10月4日 NPO 法人パブリックリソースセンター 田口氏 来訪
- 11月8日 阪神 NPO 連絡協議会 来訪

組織運営に関する事項

1. 総会の開催

平成 24 年度通常総会を開催

開催日時：平成 25 年 7 月 20 日（土）13:00-14:30

場所：みやぎ NPO プラザ第 1 会議室

議案：第 1 号議案 平成 24 年度事業報告及び決算の承認

第 2 号議案 平成 25 年度事業計画（案）及び予算（案）の審議及び議決

第 3 号議案 定款の変更の審議及び議決

2. 理事会の開催

毎月開催（年 12 回開催）

開催日：第 94 回	6 月 18 日	仙台市情報産業プラザ
第 95 回	7 月 17 日	みやぎ NPO プラザ
第 96 回	8 月 13 日	炉だん
第 97 回	9 月 24 日	仙台市シルバーセンター
第 98 回	10 月 17 日	みやぎ NPO プラザ
第 99 回	11 月 14 日	みやぎ NPO プラザ
第 100 回	12 月 18 日	プロミスお客様サービスプラザ
第 101 回	1 月 18 日	みやぎ NPO プラザ
第 102 回	2 月 15 日	みやぎ NPO プラザ
第 103 回	3 月 12 日	みやぎ NPO プラザ
第 104 回	4 月 17 日	みやぎ NPO プラザ
第 105 回	5 月 14 日	みやぎ NPO プラザ

3. 会議

(1) 事務局スタッフ及びみやぎ NPO プラザスタッフ合同ミーティング

毎月第 1 月曜日に開催（年始・連休時を除く）し、今年度は全 12 回開催。

開催日：6 月 4 日、7 月 2 日、8 月 6 日、9 月 3 日、10 月 1 日、11 月 5 日、
12 月 3 日、1 月 7 日、2 月 4 日、3 月 4 日、4 月 8 日、5 月 13 日

(2) 編集会議

『月刊杜の伝言板ゆるる』発行月前月末もしくは当月初めに、掲載内容を決めるために開催。今年度は全 12 回開催。また『月刊ゆるる』内のプラザページはみやぎ NPO プラザスタッフが別開催。

開催日：6 月 7 日（7 月号）、7 月 3 日（8 月号）、8 月 6 日（9 月号）、8 月 29 日（10 月号）、
10 月 1 日（11 月号）、10 月 31 日（12 月号）、11 月 15 日（1 月号）、
12 月 25 日（2 月号）、1 月 30 日（3 月号）、2 月 26 日（4 月号）、4 月 3 日（5 月号）、
5 月 1 日（6 月号）

プラザページ編集会議開催日：

6月14日（8月号）、7月19日（9月号）、8月25日（10月号）、
9月21日（11月号）、10月17日（12月号）、11月13日（1月号）、
12月18日（2月号）、1月17日（3月号）、2月27日（4月号）、
4月4日（5月号※）

※『One to One』5月号編集会議と合わせて実施

(3) 事務局会議

合同ミーティング前や事業ごとなど、個別に随時実施。

(4) プラザ運営業務主任打合せ

検討事項が発生した時点で随時実施。

4. 会員

正会員 47団体・個人

賛助会員 84団体・個人 （平成25年5月31日現在）

※昨年度の通常総会にて会員種別の見直しを行い、2012年8月より従来の情報会員は賛助会員に統一することにした。

また、会員に対しては預かった団体チラシなどを毎月発行する情報誌『月刊杜の伝言板ゆるる』とともに発送し、情報発信面での支援を行った。

会員への情報発信支援件数： 9件（年間）

5. 事務局員体制（平成25年5月31日現在）

(1) 杜の伝言板ゆるる事務局（宮城野区榴岡3-11-6）

代表理事：大久保朝江

常勤職員：3名

非常勤職員：1名

(2) みやぎNPOプラザ勤務（宮城野区榴ヶ岡5）

館長：大久保朝江

常勤職員：8名

6. 職員研修

(1) 職員研修

職員のスキルアップのため、必要な研修に参加した。研修で学んだ内容についてはスタッフミーティング時に報告するなど、他スタッフと共有した。

研修日	研修名	研修場所	主催団体	参加数
5月15日	特定非営利活動促進法に係る諸手続きに関する説明会	宮城県庁	内閣府	2名
6月2日、3日	市民活動(NPO)育成・強化プロジェクト NPOを磨く15の力	ホテルキャッスルプラザ多賀城	NPO法人日本NPOセンター	4名

6月20日	市民活動(NPO)育成・強化プロジェクト NPOを磨く15の力	仙台市市民活動サポートセンター	NPO法人日本NPOセンター	3名
6月25日	法人決算説明会	メルパルク仙台	仙台中税務署	1名
6月29日、30日	NPO支援センター初任者研修2012	BumB東京スポーツ文化館	NPO法人日本NPOセンター	1名
7月2日	ビジネスマナー研修会(組織内部研修)	みやぎNPOプラザ	NPO法人杜の伝言板ゆるる	8名
7月5日	市民活動(NPO)育成・強化プロジェクト NPOを磨く15の力	仙台市市民活動サポートセンター	NPO法人日本NPOセンター	1名
7月18日	市民活動(NPO)育成・強化プロジェクト NPOを磨く15の力	エスポールみやぎ	NPO法人日本NPOセンター	2名
7月30日	ボランティア活動支援業務担当者向け研修	管工事会館	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会	1名
8月2日	市民活動(NPO)育成・強化プロジェクト NPOを磨く15の力	エル・パーク仙台	NPO法人日本NPOセンター	3名
8月20日	ボランティア活動支援業務担当者向け研修	JAビル宮城	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会	1名
8月21日	改正特定非営利活動促進法に関する説明会	TKPガーデンシティ仙台	内閣府	3名
8月22日	市民活動(NPO)育成・強化プロジェクト NPOを磨く15の力	エル・パーク仙台	NPO法人日本NPOセンター	4名
9月1日、2日	市民活動(NPO)育成・強化プロジェクト 第1回全体会議	秋保温泉岩沼屋	NPO法人日本NPOセンター	1名
9月29日	50歳からのNPO実践塾「NPOの基礎講座」	みやぎNPOプラザ	宮城県(みやぎNPOプラザ)	1名
1月19日	50歳からのNPO実践塾「NPOの基礎講座」	みやぎNPOプラザ	宮城県	1名
1月26日	平成24年度災害ボランティアシンポジウム	仙台市宮城野区文化センター	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会	2名
3月1日	NPO 法人会計基準に準拠した計算書類作成のための会計セミナー	フォレスト仙台	内閣府	2名
3月2日、3日	全国ボランティアコーディネーター研究集会 2013	愛知淑徳大学	全国ボランティアコーディネーター研究集会 2013 あいち・なごや実行委員会	1名
3月4日	杜の伝言板ゆるる理事・スタッフ研修「市民に支えられるNPOとは」(組織内部研修)	みやぎNPOプラザ	NPO法人杜の伝言板ゆるる伝言板ゆるる	5名
3月9日、10日	ファンレイジング日本・2013	国際ファッションセンター	日本ファンレイジング協会	2名

(2) 市民活動団体 (NPO) 育成・強化プロジェクトへの参加

NPO 法人日本 NPO センターが、NPO 法人ワールド・ビジョン・ジャパンの協力を受けて、東日本大震災の被災地である岩手県、宮城県、福島県の 3 県において、復興活動に取り組む市民活動団体 (NPO) の育成・強化をし、被災地の NPO リーダー育成を行うプロジェクト。参加者へのサポート体制を整備しながら、平成 24 年 5 月～平成 25 年 7 月にかけて実施している。

このプロジェクトに、ゆるるのスタッフ 1 名がメンバーとして参加している。組織基盤強化のための集合研修への参加や、メンターサポート、実践プログラム等を通して、組織基盤整備や運営について学び、実践している。

①組織基盤強化のための集合研修

(i) 「NPOを磨く15の力」

NPOの基礎や組織運営の知識を学ぶ講座。ゆるるスタッフ 1 名が本プロジェクトメンバーとして、受講必須の下記講座に参加した。

月日	講座名	会場
6月2日(土)	①観る力「日本のNPOのカタチ」	ホテルキャッスルプラザ多賀城
	②興す力「価値を生み出すNPOの姿」	
6月3日(日)	③提案する力「思いを形に、共感を得る企画」	ホテルキャッスルプラザ多賀城
6月20日(水)	④組立てる力「事業計画を単年度と中長期で捉える」	仙台市市民活動サポートセンター
	⑤見通す力「組織の財源のあり方と資金管理」	
7月5日(木)	⑥持続する力「パワーを生み出す組織のあり方」	仙台市市民活動サポートセンター
	⑦推進する力「ここで差が出るマネジメント」	
	⑧育てる力「成長する人づくり」	
7月18日(水)	⑨巻きこむ力「思いを受け止め共感を広げるボランティアコーディネート」	エスポールみやぎ
	⑩整える力「安心・納得・自己実現の労務管理」	
	⑪組む力「健全で成果が出るパートナーシップ」	
8月2日(金)	⑫振り返る力「やれば役立つラクラク評価」	エル・パーク仙台
	⑬説明する力「組織を伝えるための会計」	
8月22日(水)	⑭伝える力「組織を伝えるコミュニケーション」	エル・パーク仙台
	⑮広げる力「組織を広げるコミュニケーション」	

(ii)第1回全体会議

プロジェクトの目的を再確認し、メンタープログラムに取り組む環境をつくるほか、個々のプログラムを理解し、自発的、自律的にプログラムを活用できるようになるための会議。

日時： 9月1日(土) 13:30～ 9月2日(日)

会場： 秋保温泉岩沼屋

内容： 基調講演「NPOで働くということ」

講師：NPO法人日本NPOセンター代表理事 早瀬昇氏

メンター・メンバーのマッチング、個別面談

県別メンバーの情報交換および情報共有ほか

②メンターサポートプログラム

メンバーとメンターをマッチングし、メンバーが集合研修「NPOを磨く15の力」で理解できなかった内容について質問し理解を深めたり、メンバーの組織の基盤強化にかかる課題を相談し解決に向けてアドバイスを受けるプログラム。

ゆるるスタッフには社会福祉法人大阪ボランティア協会事務局長の水谷綾氏がメンターとなり、電話やメール、対面等を通し組織運営や課題解決のアドバイスを受けた。また、次項の実践応援プログラム基盤整備コースへの応募にあたり、申請書の書き方などの指導も受けた。

③実践応援プログラム 基盤整備コース

プロジェクト参加メンバーに、組織基盤強化のために課題となっている事柄に対して資金助成を行うプログラム。

ゆるるでは、11月1日に「認定NPO法人運営を見据え、寄付の基礎知識やファンドレイジングを学び、寄付の集まる組織をつくる」というテーマで応募し助成が決定。下記を実践した。

(i) 寄付獲得に向けた基礎知識やファンドレイジングを学ぶ

講師を招き、理事や法人スタッフを対象に寄付獲得に向けた講座を行い、基礎知識を講義形式で学んだ。平成24年度は1回開催。

月日	研修名	講師
3月4日(月)	「市民に支えられるNPOとは」	横田能洋氏 (認定NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ常務理事・事務局長)

(ii) 寄付獲得にむけたワークショップの実施とアクションプランの実践

(i)で学んだ知識をもとにワークショップを行い、平成25年度の戦略計画とアクションプランを立て、実践する。

4月8日(月)にスタッフの1回目のワークショップを行い、ゆるるが市民に支えられることの重要性を確認しあい、「ゆるるの平成25年度の賛助会員を120名に増やす」という目標を立てた。

5月13日(月)に2回目のワークショップを実施。目標に向かい、具体的な取り組み項目(月刊ゆるる掲載団体への会員募集案内、月刊ゆるる発送および設置先への会員募集案内、また新年度に向けた会員継続依頼の徹底など)を決め、現在も継続して取り組んでいる。

(iii) 寄付獲得ツールとしての団体パンフレットの作成

組織内で「団体パンフレット作成チーム」をつくり、団体の目的を広く知らせ賛同を得るためのパンフレットを作成する。5月から作成作業を開始し、チームを中心にパンフレットの掲載内容を協議検討し、さらに理事やスタッフで共有して決定する。6月末に完成予定。

パンフレット仕様： 判型 A3 三つ折り両面フルカラー
印刷部数： 8,000 部
デザイン： 堺真紀

(iv) 「ファンドレイジング・日本 2013」参加

3月9日(土)、10日(日)に東京で開催されたNPO法人日本ファンドレイジング協会主催の標記事業にスタッフ2名が参加し、ファンドレイジングのなかでも寄付に特化したテーマを学んだ。

7. ボランティア

ゆるる事務局、みやぎNPOプラザにて11人のボランティアを受け入れ、288.85時間の協力を得た。

下表内の数字の単位は時間

発送	データ入力	月刊ゆるる校正	新聞スクラップ	会計サポーター資料作成	プランターケア	合計
64.65	145.75	7.85	10.85	9.5	50.25	288.85

総時間数：288.85 時間

8. 他団体との連携や協働の推進

(1) 会員として連携

- ① NPO 法人 ICT 支援 NPO ネットワーク宮城
- ② NPO 法人 NPO 会計税務専門家ネットワーク (9/8 総会)
- ③ NPO 法人会計基準協議会
- ④ NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター
- ⑤ NPO 法人日本 NPO センター

(2) 審議会・委員会等の委員

行政等の審議会や委員会、評議会などの委員として、市民活動・NPO の立場から提言を行った。

- ①国 : 内閣府 NPO 法人実態把握等に関する検討会 (6/19、7/20、8/1)
内閣府新しい公共支援事業報告会 (8/28)
東北行政評価局懇談会 (3/5)
内閣府共助社会づくり懇談会 (4/25、5/8、5/22、5/27)
- ②宮城県 : 新しい公共支援事業運営委員会 (7/12、9/12、2/6)
宮城県民間非営利活動促進委員会 (3/21)
宮城県防災会議 (2/1)
- ③その他 : 公益社団法人せんだい男女共同参画財団理事会 (11/19、3/21、5/29)
公益社団法人仙台国際交流協会評議会 (10/30、4/1)

(3) 助成金等審査員

行政や民間の助成や補助事業に審査員を派遣し、支援組織としての視点から審査に加わった。

- JKA 助成金審査会 (6/19、12/21)
- タケダ・いのちとくらし再生プログラム助成審査会 (9/4、12/20、2/6、4/19)
- 公益社団法人仙台国際交流協会助成審査会 (9/11、3/12)
- 財団法人愛知揆一福祉振興会 みやぎ社会貢献大賞審査会 (11/16、12/1)
- かほく「108」ファンド審査会 (4/18、5/23)
- 加美町まちづくり提案事業公開プレゼン審査会 (7/26、4/20)

(4) NPO 法人会計基準協議会への参画

NPO 法人会計基準策定時の協議会は解散せず、継続することになり、平成 24 年 6 月 15 日に総会を開催。その後、ゆるるは世話団体になり、さらに幹事団体となった。

世話団体会 (8/17、9/19、3/1) 会計基準フォーラム (11/22) 全国の所轄に対しての会計基準説明会 (2/13)

平成 25 年 4 月 24 日第 2 回総会開催

(5) NPO 法人会計基準研究会への参加

一昨年度、会計の専門家に呼び掛かけて NPO 法人会計基準の研究会を立上げ、専門家と共

に学びながら宮城県の NP0 法人会計基準の普及に寄与するための研究会の発足及び第 1 回開催に関わった。今年度は、定期的に開催し、事例検証等を通して、NP0 法人会計基準の普及について検討した。開催日程は以下の通り。

第 2 回 日 時：6 月 13 日（水）18：00～19：30

参加者：11 名

内 容：研究会のミッションと成果目標、解決課題の洗い出し

第 3 回 日 時：8 月 30 日（木）18：00～19：30

参加者：14 名

内 容：NP0 法人会計基準導入度に関するチェックリスト(案)の検討

第 4 回 日 時：11 月 6 日（火）18：00～19：30

参加者：16 名

内 容：NP0 法人の会計について(収益の種類と留意点等)

第 5 回 日 時：12 月 26 日（水）18：00～19：30

参加者：13 名

内 容：NP0 法人の会計について(会計処理、決算書等)

第 6 回 日 時：4 月 12 日（金）18：00～19：30

参加者：12 名

内 容：NP0 法人会計基準白書 2012 について

(6) 名義後援

NP0 が催事を開催する際、名義後援を希望した団体に許可した。

- ・ NP0 法人ミューズの夢 10 周年記念コンサート(11/24)
- ・ 社会福祉法人宮城県社会福祉協議会 災害ボランティアシンポジウム(1/26)
- ・ 大國神社の山野草を守る会 第 8 回かたくり祭(4/6)

9. 組織の広報及び理解促進

(1) ホームページ等の運用

杜の伝言板ゆるるのホームページ (<http://www.yururu.com/>)・ブログ (<http://blog.canpan.info/yururu>) を活用し、組織の情報公開を進めた。

【ホームページ／お知らせ 30 件】			
月	件数	月	件数
6 月	3	12 月	2
7 月	3	1 月	0
8 月	5	2 月	1
9 月	2	3 月	0
10 月	4	4 月	4
11 月	1	5 月	5

【事務局ブログ 68 件】			
月	件数	月	件数
6 月	4	12 月	6
7 月	6	1 月	2
8 月	6	2 月	3
9 月	10	3 月	6
10 月	10	4 月	6
11 月	6	5 月	3

(2) ゆるる通信（旧事務局通信）の発行

事務局の活動を会員に伝えるため発行してきた事務局通信を、平成 25 年 4 月号から、より

多くの方に杜の伝言板ゆるるの活動を伝える「ゆるる通信」として、リニューアルし、発行部数もこれまでの200部から1200部に増刷した。理事コラムは継続し、職員のみならず、理事の「顔」の見える媒体として発行した。

発行日：8月1日、10月1日、12月1日、2月1日、4月1日、6月1日

発行部数：8月～2月 200部、4月～6月 1200部

発送先：8月～2月 正会員・賛助会員、4月～ 正会員・賛助会員・月刊ゆるる発送先
掲載内容

8月号	理事コラム	ソーシャルメディアを活用しよう<佐藤和文>
	記事	みやぎ NPO ブラザ出前講座、災害復旧工事が始まります、10年目の夏ボラ体験、水辺の貴重な生き物観察会開催、市民活動団体（NPO）育成・強化プロジェクト
10月号	理事コラム	総会→登記→定款変更→次はめざせ！認定 NPO 法人<大久保朝江>
	記事	災害復旧工事-その後、NPO のための会計サポーター養成講座始まりました、認定 NPO 法人取得にむけたサポートを開始、会計ソフト「N-Books」実践講座開催、赤い羽根共同募金助成決定
12月号	理事コラム	変化の兆しはどこに？～市民活動と社会教育～<梨本雄太郎>
	記事	NPO フォーラム 2012 開催、みやぎ NPO 情報公開システム「みやぎ NPO ナビ」構築中、NPO 法人会計基準普及度調査、認定 NPO 法人申請に向けて
2月号	理事コラム	2013 年、復興へむけて<大久保朝江>
	記事	みやぎ NPO ブラザ入居団体募集中！、認定 NPO 法人申請をサポート、被災地 NPO のための出前専門相談会、会計サポーター派遣開始
4月号	理事コラム	被災地でのコミュニケーションについて思うこと<波多野卓司>
	記事	「市民に支えられる NPO」について学ぶ！、宮城県外へ被災地の NPO 情報を発信、会計サポーター派遣キャンペーン、みやぎ NPO ナビ、オープン！
6月号	理事コラム	発信力<大泉大介>
	記事	今年も夏ボラスタートしています！、みやぎ NPO ブラザ・ショップが続々オープンします、会計サポーター派遣事業が自主事業として再スタート、名取市市民活動支援センターでの市民活動支援スタートしました、新職員紹介

(3) メディアでの広報

震災関係の報道や主催事業を開催した際、新聞や冊子に掲載されたほか、寄稿依頼もあった。また、各種講座に関する情報は、29 件、掲載があった。

日付	記事内容
7月17日	河北新報朝刊 NPO で高校生の夏ボラ体験 2012 事前学習会 紹介記事
8月5日	河北新報朝刊 「被災 NPO 法人 再開過程を報告」復興への道～被災した NPO の軌跡、そして未来へ～ 取材記事
9月1日	市民活動総合情報誌ウォロ 9月号 復興支援活動紹介寄稿記事
9月1日	日本 NPO 学会ニューズレター 被災地の NPO が自立できるための NPO 支援 寄稿記事
11月5日	河北新報夕刊 NPO 情報室 NPO フォーラム 2012 紹介記事
2月8日	読売新聞 「民間団体の復興活動 募金低調「応援」呼びかけ」 ボラサポ 取材記事
4月1日	市民活動総合情報誌ウォロ 4月号 復興支援活動紹介寄稿記事
日付	ラジオ・インターネット放送
9月26日	ラジオ Date fm『Crescendo』 10:40～ラジオ出演
11月15日	ユーストリーム放送『IF I AM』 22:40～出演 NPO フォーラム 2012 告知
3月28日	ラジオ LOVE FM『Stylish Life』 16:00～ラジオ出演